

□日時：平成30年9月15日（土）13時30分～15時

□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第4回「ピースくまもと」設立準備事務局会概要報告

1 開会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局会代表 小山和作
戦後73年を迎え、戦争の記憶が遠のいていく。8月の戦争遺産の旅では、宮川さんのご尽力で大変良い企画ができ、ありがとうございました。



小山代表の開会挨拶

2 参加者自己紹介（各自の近況等を紹介してください。 ※敬称略）

- 小山和作・安藤富士記・上村真理子
- 堀浩太郎・伊藤利明・吉田正昭・宮川和夫・多田喜一郎・上田欣也・戸崎孝行・石川幸彦・高谷和生
- 欠席：久米野安俊・有馬信一・末永崇・三隅康資・永田昭・高野誠二・青木栄・二見正輝・勝又俊一・矢加部和幸・山野幸司・赤瀬恵・平野順也・本田清悟・熊日社会部記者

3 「くまもと戦争遺産の旅」

(1) 当日の概要

- 日時：平成30年8月5日（日）8時30分～16時30分
- 主催：旅のよろこび株式会社（宮川代表）
- ピースくまもと設立準備会からの協力
- 参加者：45人
- 報道関係 熊日（7/17事前報道・夕刊「戦争遺跡 平和の礎」で特集）・RKK・TKU・NHKは当日取材
- TKU報道番組・8/21「くまもと戦争遺産の旅」DVDの視聴

(2) 当日の「反省と課題」整理、今後の方向性

※資料1

①参加者アンケート集約内容の報告

- 参加者45人のうちアンケート26通の回答。きわめて良好な感想内容であった。また、個別の聞き取りを9名行っているため、別途内容は紹介する。
- 参加者のお一人は、熊日「おんなの目・沈黙の語り部たち」に見学会感想を投稿され記事が掲載された。

②次回・次年度に向けて、課題の整理等

- 2回予定分で、第1回は参加者が集まらず実施できなかった。8月5日実施分は、熊日夕刊記事で紹介もあり、満席でキャンセル待ちの状態であった。
- 8月の猛暑日でもあったが、8月は命を考える時期でもある。黒石原奉安殿証言ではバス内（冷房の効いた車内で着席し、マイクを通しての話し）での証言は良かった。また、水分補給、塩飴配布、バス内での休息等の工夫もできた。
- 地元の新聞等を通しての事業広報のさらなる工夫が必要
- 若い世代や子ども達へ参加したいという気持ちの醸成も課題
- 県教育委員会等を通しての事業紹介の方法もあるのでは
- 事務局体制を整えば、助成金を受けて小学生等参加費への補助も可
- 平和学習を行っている御船高校等へ、校長会等を含めての展開の方法も考えられる。
- 学校内で平和・人権問題に関心を持つ教員への働きかけ（甲佐・八代・松橋高校）は効果がある。
- 戦争を語り継ぐ会への小学校からの依頼に応え、それを手がかりして広げる事も可能ではないか。
- 修学旅行等への対応もできるように、戦争遺跡資源の調査や整備を地道に進めていく。
- 若い世代の参加は →20代の女性2人は、東海大学学生さん方で、戦争遺跡を地域資源テーマとして卒論としたいとの事。
- ③事務局への1万円謝礼の使途 →当面、事務局預かりで対応
- ◎次年度も継続して、夏季に見学会を実施できるように課題等をさら



旅のよろこび社 宮川さんによる旅行内容の報告

に整理する。

4 その他の活動 等

(1) 「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」展示会

熊本市立図書館（市教育委員会）共催事業

- 熊本市立図書館（大江）、7/10～8/28の期間開催で、大変好評でした。
- 上村さん講演会「空襲を語る絵本たち」は8/11（土）実施し、その日からの米軍新発見資料公開と併せたことにより更に多くの入館者に繋がった
- 啓発リーフレット『M76焼夷弾と熊本空襲』の発行
→事：無料配布必要があれば申し出てください。

(2) 「戦争を語り継ぐ会」での証言集『語り継ぐ戦争の記憶 III』発行

- 体験談と戦時資料の解説等。27編の収録
- 1000円で販売中、安藤さんへ。

(3) 米国よりの「帰還日章旗」の件

※資料2

- フリーライター三輪佳子さんからの申し出。三輪さんレポート「帰れない日章旗」の紹介
- 故人「Kenneth Keith Jones」さん所蔵資料を、息子様から日本に、熊本に「帰還させたい」との申出への対処について
- 25^号×19^号の「武運長久銘日章旗」の「第六師団 第二中隊」と書かれていた事による、熊本の平和団体である本会への申出となった。
- 歴史的な資料価値よりも「日米の平和の架け橋」として「戦争を無くして、平和を継続していきたいとする本会活動にも合致する」ので、受け入れを進めたらどうか。
- ◎先方と具体的手順、報道・保管・展示等について詰めていく。再度事務局会に提示する。



人吉・球磨戦跡ネット
多田さんの報告

5 戦争と平和ミュージアムの「ピースくまもと」設立に向けてのタイムテーブル（9/15案）

※資料3

- 自治体広報紙による戦争関連特集と本事務局会での関わり。宇城市・玉名市の紹介
- 事：今回の本事務局会では、時間不足でしたので、「ピースあいち」リーフレット二種、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」チラシ・リーフレットは、次回以降で配布します。
- 5年間とする意味は
→事：大きな期間の目安である。本年の準備期間1年を含め、3年間の募金・啓発事業等の展開、最終1年での開館準備という大きな捉えを考えた。
- 全国各地で既に開館している平和資料館で、開館に向けどの様に取り組んだのか、関係資料の具体的な提示ができないか。
→事：今夏に「ぴーすあいち」を訪問し、副館長・事務局長とも面談し、限られた時間だったが、意見交換等も行った。館刊行資料『希望を編みあわせる』巻末の資料が手許にある。内容は、「建設を呼びかける会アピール、基本構想案、設立準備会定款」等の14項目資料で26頁分なので、スキャンしPDFデータ化し、HPに掲載するように準備したい。次回以降で資料を提示し、内容検討を進めていきたい。

6 その他

(1) 次回の「第5回ピースくまもと設立準備事務局会」は、当初提案の11月18日から

「11月24日（祝）午後1時半から」に変更したい。

なお、後半に「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」の「第2回現地実行委員会」を開催したい。

(2) 次回は、ぴーすあいち開設資料、会事務局体制、A～C作業部会の編制 他

(3) 菊池花房の会の永田さんからは、「事務局会名称の変更の協議をしてほしい」との依頼

- 事：第3回事務局会で、5/13当日アンケート内容「10 平和ミュージアムの仮名称」については報告の通りです。アンケート回答内容では、意見は多様で、ピース熊本に関し、絶対この名称が「嫌だ」「困る」という中身ではないと判断した。
- 事：そこから、今回のタイムスケジュール案にも再度示した様に、名称は「最終的に一般公募」で決めるとした次第である。
- 高谷からは、準備会名称に「違和感がある」という様な、曖昧な言い方ではなく、準備会名称（仮名称）を変更する事での「リスクの発生」や「事務局負担」はかなり大きいので、

これを行うには「より積極的な理由が必要ではないでしょうか」と伝えてある。
○事：次回以降で、永田さんから、提案の予定です。

7 8/8 NHKニュース9「戦争遺跡の観光地化」特集番組のビデオ視聴

○8/1開館した「人吉海軍航空基地資料館」に関する特集番組の視聴を行う。

8 閉会



「くまもと戦争遺産の旅」特集番組のビデオ視聴



「ピースあいち」建物外観と館内の「命の壁」展示



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生

自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

個人携帯 090-1513-5528

Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>